

肥満の子供や年少者に対するトレーニングプログラム“OBELDICKS”の評価

佐々木 誠

秋田大学医学部保健学科

目的：肥満の子供や年少者におけるトレーニングプログラムの評価はあまりなされていないが，有効性を証明し，治療様式を改善するために必要である。

対象と方法：われわれは，132 名の子供や年少者(平均年齢；10.7±2.4 歳)を対象に，医学会ならびにドイツ肥満研究会が開発した基準に基づいた身体運動，栄養教育，行動療法からなる外来でのトレーニングプログラム“OBELDICKS”を，1 年間実施し，その有効性(体重減少の程度，合併症と健康行動の改善，副次的な悪い効果の最小化)について検討した。さらにわれわれは，外来トレーニング終了 2 年後に体重超過の程度を body mass index の標準偏差スコア(SDS-BMI)で分析した(n=60)。

結果：対象者の 74%で体重超過が減少し(71%の者は過剰体重の 5%以上減少，55%の者は 10%以上減少)，治療の目的が果たせた。SDS-BMI 減少の平均は 0.43(範囲；0.01～2.28)であった。対象者の 34%はトレーニング終了時点で肥満でなくなり，8%の者は正常体重となった。体重超過の程度は，プログラム開始前と比較して介入後 2 年で，有意に低値であった(p<0.001)。合併症は，高血圧，脂質異常血症，高尿酸血症の頻度が有意に減少し(それぞれ p<0.001, p<0.01, p<0.05)，これらの合併症の背景因子と考えられるインスリン抵抗性が高い者の頻度も有意に低下した(p<0.01)。栄養，運動，食習慣(認知的コントロールと，コントロールの無抑制)は有意に改善した。副次的な悪い効果は認められなかった。

考察：以上より，外来トレーニング“OBELDICKS”は，医学会ならびにドイツ肥満研究会の基準に基づく有効性があることが証明された。この長期にわたる特別な治療によって，参加した肥満の子供や年少者の多くで長期間の体重減少が達成できることが示された。

Reinehr T, et al : Evaluation der Schulung "OBELDICKS" für adipöse Kinder und Jugendliche. Klin Pädiatr **217** : 1-8, 2005

臨床家の治療選択は非特異的腰痛に対してマニュアルセラピーの治療成績を改善しているか？ メタ分析

籾山日出樹

秋田大学医学部保健学科

目的：メタ分析により臨床家が治療技術を決定する裁量を有している場合と，いない場合とで治療期間と痛み，活動制限について調査し，非特異的腰痛(NSLBP)へのマニュアルセラピー(MT)の成果を定量的に比較した。

対象と方法：調査は 2003 年 8 月に CINAHL, EMBASE, MEDLINE, the Physiotherapy Evidence Database(PEDro), the Cochrane Controlled Trials register などの data base から抽出した MT に関する研究論文とその参考文献，LBP の RCTs のレビューを調査した。288 の関連文献を表題と要旨により 65 文献まで選別し，さらに除外基準に照合し 55 文献が除外された。除外基準は，痛みと活動制限の標準平均差が不適當，PEDro の Quality Rate が 3 以下，効果判定できない，effect size の算出が不適切，であった。Effect size は Cochrane Collaboration Revman(ver4.2)の software にて算出された。MT の効果は痛みと活動制限について検討された。治療期間が 3 週末未満とそれ以上で，臨床家が治療技術を決定する裁量の有無に分けてメタ分析した。

結果：NSLBP に対する MT の RCTs を行った 10 の論文が基準を満たした。対象の RCTs の約 2/3 において，臨床家は治療技術を決定する裁量を有していた。臨床家が治療法を選択をした RCTs の成果は，選択ができないものと比較して差を認めなかった。

考察：質的研究はほとんど利用不可能で，これらのデータに基づく結論は，慎重に解釈される必要があった。臨床家が多くの治療法の中から治療技術を選択するにもかかわらず，今回の RCTs の成果からは NSLBP を改善しているとはいえなかった。NSLBP 患者に対する MT は，まだ体系的に効果を明らかにするには至っていない。

Kent P, et al : Does clinician treatment choice improve the outcomes of manual therapy for nonspecific low back pain? a metaanalysis. J Manipulative Physiol Ther **28** : 312-322, 2005